

作成日 2016/11/04

改訂日 2019/08/27

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	フロンクリート ローラー用骨材
製品コード	608279
整理番号	HNT0033734-1
供給者の会社名称	東日本塗料株式会社
住所	124-0006 東京都葛飾区堀切3丁目25番18号
担当部門	品質保証部
電話番号	0480-65-5880
FAX番号	0480-65-5798
緊急連絡電話番号	0480-65-5880
推奨用途及び使用上の制限	塗料

2. 危険有害性の要約

GHS分類

健康有害性	急性毒性(経口) 区分外 皮膚腐食性・刺激性 区分2 眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性 区分1 特定標的臓器毒性(単回ばく露) 区分2(呼吸器) 特定標的臓器毒性(反復ばく露) 区分2(肺) 上記で記載がない危険有害性は、分類対象外か分類できない。
-------	--

GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語 危険有害性情報

危険

H371 呼吸器の障害のおそれ
H373 長期にわたる、又は反復ばく露による呼吸器の障害のおそれ
H314 重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷

注意書き 安全対策

粉じん、ヒュームを吸入しないこと。(P260)
ガスの吸入を避けること。(P261)
ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。(P261)
取扱い後はよく手を洗うこと。(P264)
この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。(P270)
屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

応急措置

保護眼鏡、保護面を着用すること。(P280)
吸入した場合、空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)
眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。(P305+P351+P338)
飲み込んだ場合、口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。(P301+P330+P331)

直ちに医師に連絡すること。(P310)
 皮膚に付着した場合、多量の水と石鹼で洗うこと。(P302 + P352)
 皮膚刺激があれば、医師の診断、手当を受けること。

汚染された保護衣を再使用する場合には洗濯すること。

保管 気分が悪い時は、医師の手当て、診断を受けること。(P314)
 容器を密閉して換気の良い場所で保管すること。(P403+P233)
 廃棄 施錠して保管すること。(P405)
 内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。(P501)

3. 組成及び成分情報
 化学物質・混合物の区別

混合物

化学名又は一般名	濃度又は濃度範囲	化学式	官報公示整理番号		CAS番号
			化審法	安衛法	
酸化カルシウム	1.0～2.0%	CaO	(1)-189	既存	1305-78-8
ポルトランドセメント	90～99%	—	—	—	65997-15-1
水酸化カルシウム	1.0～10%	Ca(OH)2	(1)-181	既存	1305-62-0

分類に寄与する不純物及び安定化添加物

情報なし

労働安全衛生法

名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表)
 ポルトランドセメント(法令指定番号:545の2)(93%)
 酸化カルシウム(法令指定番号:190)(2%)
 水酸化カルシウム(法令指定番号:317)(5%)

4. 応急措置
 吸入した場合

充分にうがいをし、刺激がある場合には必要に応じて医師の手当てを受ける。

粉体を吸込んで気分が悪くなった場合には、直ちに医師の診断を受けること。

皮膚に付着した場合

直ちに皮膚を流水又はシャワーでよく洗浄する。汚染された衣類を全て脱ぐこと、又は取り去ること。

外観に変化が見られたり、刺激・痛みがある場合、気分が悪い時には医師の診断を受けること。

眼に入った場合

直ちに大量の清浄な流水で15分以上洗う。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。まぶたの裏まで完全に洗うこと。出来るだけ速く医師の診断を受けること。

清浄な水で数分間、充分洗浄をし、眼に傷がついたときや刺激がある時等、必要に応じて医師の手当てを受けること。

飲み込んだ場合

水でよく口の中を清浄し、必要に応じて医師の手当てを受けること。

誤って飲み込んだ場合には、安静にして直ちに医師の診断を受けること。

嘔吐物は飲み込ませないこと。

医師の指示による以外は無理に吐かせないこと。

<p>5. 火災時の措置</p> <p>消火剤</p> <p>特有の消火方法</p> <p>消火を行う者の保護</p>	<p>本製品は不燃性である。周辺火災に適応した消火剤を用いる。</p> <p>危険でなければ火災区域から容器を移動する。容器に水を入れてはいけない。</p> <p>消火作業の際は、空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。</p>
<p>6. 漏出時の措置</p> <p>人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置</p> <p>環境に対する注意事項</p> <p>回収、中和</p> <p>二次災害の防止策</p>	<p>直ちに、全ての方向に適切な距離を漏洩区域として隔離する。</p> <p>関係者以外は近づけない。</p> <p>風上に留まる。</p> <p>作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止及び保護措置』の項を参照)を着用し、眼、皮膚への接触や粉じん、ミストの吸入を避ける。</p> <p>本製品は、水汚染物なので土壌汚染、もしくは排水溝及び排水系及び大量の水に流入することを防止する。</p> <p>シート等で覆い、飛散拡大防止を図り、乾燥土、砂や不燃材料で吸収し、あるいは覆って密閉できる空容器に回収し、後で廃棄処理する。</p> <p>情報なし。</p>
<p>7. 取扱い及び保管上の注意</p> <p>取扱い</p> <p>局所排気装置・全体換気</p> <p>安全取扱注意事項</p> <p>接触回避</p> <p>技術的対策</p> <p>混触危険物質</p> <p>安全な保管条件</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気装置、全体換気を行う。</p> <p>眼に入れないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>接触、吸入又は飲み込まないこと。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>保管場所には日光の直射を避ける。通風のよいところに保管する。</p> <p>『10. 安定性及び反応性』を参照。</p> <p>容器は、換気の良い涼しい所で保管すること。混触危険物質、可燃物から離して保管する。</p>
<p>8. ばく露防止及び保護措置</p> <p>設備対策</p> <p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護具</p> <p>適切な衛生対策</p>	<p>近くに手洗い、洗眼などの設備を設ける。集塵機を設置する。</p> <p>取扱い場所は、給排気が十分取れる設備とすること。粉じんが積もらないような設備とすること。</p> <p>適切な呼吸器保護具を着用する。</p> <p>保護手袋を使用する。</p> <p>保護メガネを使用する。</p> <p>顔面用の保護具、保護衣、安全靴等を着用すること。</p> <p>取扱後はよく手を洗うこと。</p>
<p>9. 物理的及び化学的性質</p> <p>外観</p> <p>臭い</p> <p>臭いのしきい(閾)値</p>	<p>物理的状态</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>固体</p> <p>固体(粉末)</p> <p>白色</p> <p>無臭</p> <p>データなし</p>

pH		12 ~ 14
融点・凝固点		約1,350°C
沸点、初留点及び沸騰範囲		データなし
引火点		引火せず
蒸発速度		データなし
燃焼性(固体、気体)		データなし
燃焼又は爆発範囲	下限	データなし
	上限	データなし
蒸気圧		データなし
蒸気密度		データなし
比重(密度)		3.0~3.3
溶解度		データなし
n-オクタノール／水分配係数		データなし
自然発火温度		データなし
分解温度		データなし
粘度(粘性率)		データなし
動粘性率		データなし
10. 安定性及び反応性		
反応性		情報なし
化学的安定性		水と反応して安定固化する。
危険有害反応可能性		強酸化剤と反応する。
避けるべき条件		情報なし。
混触危険物質		強酸化剤、酸類。
危険有害な分解生成物		酸化カルシウム
11. 有害性情報		
急性毒性		データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性		ヒトの皮膚に中等度の刺激性がある。
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性		皮膚刺激(区分2) ヒトの眼に刺激性がある。
呼吸器感作性又は皮膚感作性		重篤な眼の損傷(区分1) 極微量のクロム化合物が含まれており、6価クロムに対して過敏である場合にアレルギーが起こる可能性がある。
生殖細胞変異原性		データなし
発がん性		データなし
生殖毒性		データなし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		特定標的臓器毒性(単回暴露)を持つと分類されている酸化カルシウムを最大2%含む可能性があるので、区分2(呼吸器系)に分類した。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		多量に長期間吸入すると『じん肺』になるおそれがある。特定標的臓器毒性(反復暴露)を持つと分類されている酸化カルシウムを最大2%含む可能性があるので、区分2(呼吸器)に分類した。
吸引性呼吸器有害性		データなし
12. 環境影響情報		
環境影響・生態毒性		接触水はアルカリ性(PH12~13)を呈するから、環境に影響を及ぼさないように注意する。 土と混合した改良土からは、土壤環境基準を越える六価クロムが溶出する場合がありますので、事前に試験を行い溶出量を確認する。
水生環境有害性(急性)		データなし

<p>水生環境有害性(長期間) オゾン層への有害性</p>	<p>データなし</p>	<p>モントリオール議定書の付属書に列記された物質を含まない。</p>
<p>13. 廃棄上の注意 残余廃棄物</p>	<p>廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。 都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行 廃棄物の処理を依頼する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。 本製品を含む廃液及び洗浄排水を直接河川等に排出したり、そのまま埋め立てたり投棄することは避ける。 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。</p>	
<p>汚染容器及び包装</p>		
<p>14. 輸送上の注意 国際規制</p>	<p>海上規制情報 Marine Pollutant Transport in bulk according to MARPOL 73/78,Annex II ,and the IBC code. 航空規制情報</p>	<p>該当しない Not applicable Not applicable</p>
<p>国内規制</p>	<p>陸上規制 海上規制情報 海洋汚染物質 MARPOL 73/78 附 属書II 及びIBC コー ドによるばら積み輸 送される液体物質 航空規制情報</p>	<p>該当しない 取扱い及び保管上の注意の項の一般的注意に従う。 陸上輸送 消防法、労働安全衛生法、毒劇法に該当する場合は、法令の輸送について定めるところに従う。 海上輸送 船舶安全法に定めるところに従う。 航空輸送 航空法に定めるところに従う。</p>
<p>緊急時応急措置指針番号</p>		<p>該当しない なし</p>
<p>15. 適用法令 労働安全衛生法</p>		<p>名称等を表示すべき危険物及び有害物(法第57条第1項、施行令第18条第1号、第2号別表第9) 名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第57条の2、施行令第18条の2第1号、第2号別表第9) 非危険物 有害液体物質(Z類物質)(施行令別表第1) 輸出貿易管理令別表第1の16の項</p>
<p>消防法 海洋汚染防止法 外国為替及び外国貿易法</p>		

じん肺法

16. その他の情報

連絡先
参考文献

東日本塗料株式会社
溶剤便覧
製品評価技術基盤機構(NITE)
メーカーSDS
日本工業標準調査会「JISZ7253 GHSに基づく化学品の危険有害性情報の伝達方法、作業場内の表示及び安全データシート(SDS)」
日本工業標準調査会「JISZ7252 GHSに基づく化学品の分類方法」
日本塗料工業会編集「容器イエローカード(ラベル方式)塗料マニュアル 改訂版」
日本ケミカルデータベース製物質データベース
[注 意] 危険性・有害性の評価は必ずしも十分ではありませんので、取扱いには十分注意して下さい。
この製品の製品安全データシートの記載内容のうち含有量、物理化学的性質などの値は、保証値ではありません。
記載内容は現時点で入手できる資料、情報に基づいて作成しておりますが、すべての化学品には未知の有害性があり得る為、取扱いに当たっては細心の注意が必要です。
注意事項は通常の取り扱いを対象としたものである為、特殊な取扱いの場合には、用途・用法に適した安全対策を実施の上ご使用下さい。
又それらが実際の使用状況に相応しているか、環境保護の目的にそっているか、あるいは貴社の従業員の方々や貴社製品購入者の健康・安全を損なわないか等については、貴社の責任にてご判断願います。

その他